

弘経寺だより

発行所

寿龜山弘経寺

〒303-0041

常総市豊岡町甲1

TEL0297-24-0895

響流十方

今年も彼岸花の季節に当山本堂において、「響流十方、秋の彼岸コンサート」を開催いたします。演奏していただきますのは、

森亮子さん（パイプオルガン）、田中潤一さん（リコーダー）、小木曾実奈さん（声楽）、高橋理恵さん（声楽）です。

今年小型のパイプオルガンをこの日のためにレンタルし、一般にはキリスト教会でしか聞くことのできないパイプオルガンの音色を弘経寺の本堂でお聴きいただくこととなります。ソプラノの歌声やリコーダーとの美しいハーモニーも楽しみます。

一回目と二回目の公演のプログラムはそれぞれ異なりますので、是非二回の公演を通してお楽しみいただきたくお勧めいたします。

岸花と爽やかな秋風とパイプオルガンの音色、飯沼弘経寺ならではのコンサートには是非おいでいただきたく、ご案内申し上げます。

とき 平成二二年九月二五日（土）

一回目公演

午後一時三〇分（午後一時開場）

二回目公演

午後三時三〇分（午後三時開場）

ところ 飯沼弘経寺 本堂

申込方法

① 当地区の世話人さんに直接お申込みください

② ホームページからもお申込みいただけます

● アドレス

<http://www.guhyoji.jp/>

● 「弘経寺」と入力して検索

● 会費

● 一回目二回目公演それぞれ一五〇〇円、

● 一回目二回目両方ご購入いた

まちなか展覧会

だきますと二五〇〇円（前売のみ）となります。

かつて鬼怒川の水運で栄えた茨城県常総市には、明治から大正期に建てられた町役場、商店、蔵、銀行といった建物が点在しています。このような街並みや地域の特性を活用し、地域の芸術文化の普及向上、美術作家の人材育成支援を目的として展覧会などの事業を行います。

おかげさまで、まちなか展覧会は今年で四回目を迎えます。新しく会場が増えて作家も二十五名と今までになく大きくなった展覧会をいろいろな方々に街を散策していただきながら、アートを楽しみ、楽しんでいただきたく、ご案内申し上げます。

開催期間

二〇一〇年一〇月一六日（土）～一〇月三一日（日）一六日間

一〇時～一八時

会場（全て常総市内）

二水会館、常総市立図書館、五木宗レンガ蔵、観水公園、せせらぎ公園、矢口金物店、鬼怒川河川敷、黒倉庫（仮称）、白倉庫（仮称）、旧報徳銀行

ホームページ

<http://www.matinaka.com>



まちなか展覧会ワークショップ

展覧会会期中を中心に地元の市民の方々と美術作家の交流事業『子どもとおとなの図工天国美術館』活動を行います。たくさんの方々に、図工、美術、アートをいろいろな美術作家とともに体験してもらいたく、ご案内申し上げます。

赤な彼

真つ

開催日時

一回目 一〇月二日（土）

一三時三〇分～一六時

二回目 一〇月一〇日（日）

シリーズ法然上人

大原談義を契機として法然は、専修念仏についての確信を深めることができた。また聖道門に属する僧とくに求道的な僧は法然に対する尊敬を惜しまなかった。法然は戒行①薫習の念仏聖（ひじり）であるだけだけでなく、特に専修念仏を説く求道者の一面を、印象付けたのである。

しかしそれと同時に、念仏の興隆、弘通（ぐづう）が国内において看過できない存在、潮流になったが故に、弾圧の対象ともなってしまった。言い換えれば、弾圧せざるを得なくなるほど、世の中に広く歓迎されるようになっていった。

いずれにしても、天台宗の僧侶であった法然上人が天台宗の枠を超えてしまったということは、天台宗との決別を意味し、また、天台宗側からは裏切りと見なされた。

大原談義から一八年後の元久元年（一二〇四年）、延暦寺の衆徒が専修念仏停止を天台座主真性に訴え出した。「法然の門弟の中に専修に名をかり本願に事をよせて放逸のわざをなすものおほかりけり。」これが念仏停止を訴えた理由であった。法然上人七二歳のときであった。

法然上人はこの訴えに対し、近国近辺の門弟を集め、対策を協議した結果、門弟たちの自粛自戒を要求する意味で、七箇条の制誡を掲げ、法然上人以下順次門弟一九〇名が署名した（元久の法難）。

しかしながら、七箇条制誡をもつてしても、南都北嶺の宗徒たちの怒りは治まらなかった。

元久二年（一二〇五年）、南都興福寺の衆徒が奏状を捧げて念仏禁断を院に訴えた。この奏状は興福寺奏状と呼ばれ、専修念仏における九箇条の過失を述べたものであった。

奏状には「法然が専修念仏の一門に偏執し、すべて八宗を滅ぼそうとするのは天魔のなすところ、仏心の痛むところである。」とあり、専修念仏の教えは他のすべての宗派の敵であるかのように述べられている。弥陀一佛を選ぶ法然上人の専修念仏は、余佛余神に決別するものとされ、対決するものであると見なされたのだろう。

法然上人の台頭は古代国家の崩壊期であり、鎮護国家によって体となしていた南都八宗はこの体制が崩れることは教団の崩壊をも引き

起こすと考えた。従って、この体制の根幹を覆す勢いのある法然上人の専修念仏は何が何でも認めるわけにはいかなかった。

かくして、元久の法難から三年後の建永二年、一二〇七年、^②住蓮・安楽の事件をきっかけに法然上人は四国へ配流されることになってしまった（建永の法難）。法然上人七五歳のときであった。

二五年の歳月をかけ、報恩蔵にこもり苦学に苦学を重ねて見出した念仏の教えはまたたく間に世間に受け入れられることとなったが、そもそも口称念仏と言う新しい信仰のスタイルを確立してしまつたが故に、南都北嶺の既成教団の反感を買い、弾圧の対象となってしまう。

二五年にもわたる筆舌に尽くしがたい苦学の後に、理不尽な弾圧によってさらに苦難を味わわなければならなかった法然上人。苦しみ淵にいる人々の魂の救済は、上人が生涯を通して自己犠牲を貫いたことによって達成された。

脚注

①薫習（くんじゅう）：香りが物に

その香りを移して、いつまでも残るように、みずからの行為が、心に習慣となつて残ること。

②住蓮・安楽の事件：美声で洛中・洛外に知られていた住蓮・安楽が六時礼讃に節をつけ、別時に六時礼讃を勤めたところ、同座していた後鳥羽上皇の留守をあずかる院の官女が数名出家してしまつた。このことが上皇の逆鱗に触れ、両名は斬罪に処せられた。九条兼実（当時五九歳）が減刑のために奔走するも、師の法然上人もその責任を逃れることは許されなかった。

キャンプファイヤー



八月七日午後七時、東京都港第一五団ボーイスカウト隊の皆さんが弘経寺にてキャンプファイヤーを行いました。飯沼からは飯田さあやちゃんもキャンプファイヤーに参加してくださいました。聖なる火を囲んで、歌を歌ったり、ゲームをしたりして楽しいひと時を過ごしました。とても思い出深いキャンプファイヤーになりました。

パネルシアター上演会

淑徳短期大学と駒沢短期大学の学生さんたちによるパネルシアターの上演会をします。楽しいプログラムが盛り沢山です。是非見に来てください！

とき 九月二十日 十時

ところ 飯沼弘経寺 本堂

対象 小学生、園児（是非ご家族の皆様と一緒においでください。）

お棚経

八月十三日、十四日、十五日の三日間、金田主管が御棚経にお参りをさせていただきますました。今年は、世



話人さんをはじめ各ご家庭のご協力のおかげをもちまして、各日も例年より早くお参りの日程を進めることができました。

餓鬼会

八月十八日、水海道部内の御寺院のご助法をいただき、平成二二年度大施餓鬼をお勤めさせていただきました。

午後一時一五分から、大妻女子大学の学生さんによる「お施餓鬼パネルシアター」が上演されました。お施餓鬼の由来や精霊棚の飾り方をパネルで分かりやすくお話をしてみらいた、ご覧いただいた方々には大変好評でした。

午後二時からは大施餓鬼会が厳修され、新盆、永代施餓鬼、各家先

祖のご回向をさせていただきますました。

今年の夏は異常ともいえるほどの暑さで、本堂へお参りいただいた一〇〇名を超えるお檀家の皆様には、お坊さんたちと一緒に修行をしていただいたようでした。厳しい暑さの中、一時間以上もお念仏・お焼香いただいたお気持ちと行いは必ず各々の新盆やご先祖の精霊に、何よりのご供養となつて届いたことと思えます。有り難く尊い施餓鬼会でした。

はちす詠唱会来山



九月一日、増上寺のはちす詠唱会

の会員二〇名の皆様が別院弘経寺にご参拝くださいました。本堂にて、月影のご詠歌と法然上人八〇〇年御忌のご詠歌をご奉納下さいました後、境内や道内を見学されながら、弘経寺の歴史に心を寄せられました。

また、このような和やかな交流の機会を持てますことを楽しみにしています。

九月の写経会 九月十八日（土）

- 付 話 経 1:45
- 受 法 写 2:00
- お念仏 2:20
- 懇 談 2:50
- 3:10

会費一〇〇〇円（高校生以下は五〇〇円）

携行品 小筆（当日受付でも販売します）

※今月はコンサート開催のため九月十八日（第三土曜日）に変更となります。

弘経寺HP

素晴らしいホームページを当山

2010年9月
お檀家の海老原政夫さんと石塚裕次さんが作ってくださいました。

アドレスは、

<http://www.gugyoji.jp>

です。または、

「弘経寺」と入力し検索して下さい。

を選択することができるようになります。

今後も世話人会、弘経寺だよりにて、五重相伝についてご相談させていただきますので、開催に向けて関心を持っていただければ、有り難く存じます。

五重相伝

世話人さんを通して皆様にご協力をいただきました五重相伝入りの希望調査につきまして、世話人会にて集計させていただきましたところ、入行希望者は四二名でした。

この希望調査は五重相伝の開催時期、五日間という日程、費用等の条件により多少の変動の可能性もありますが、基本となる参考記録として実質的に開催に向けて大変良い結果となりました。

来年(二〇一一年)は法然上人八〇〇年御忌、再来年(二〇一二年)は増上寺の大五重が盛大に開催されることから、弘経寺が五重相伝を開催できるのは二〇一三年(平成二五年)になることが予想されますが、

第42号
時期と日程と費用は今後希望者が増えれば増えるほど、よい良い条件

清掃当番

九月十二日(日)午前八時より清掃作業を行います。当番は水海道、羽生、大輪地区です。お彼岸のための清掃作業ですので、境内をきれいにして、気持ちよく参拝者をお迎えいたく思っています。担当地区の皆様よろしくお願い申し上げます。

お悔やみ

阿弥陀様の慈光の中、次の方々が極楽へ往生されました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

八月一日 大塚ハルヨ殿 七四歳

八月一日 石塚英夫殿 五七歳

八月二二日 石塚なか殿 七七歳